

自分の血糖の数値をご存知ですか？ 特定健診を受診しましょう。

村の特定健診では糖尿病の早期発見や重症化予防のため、HbA1c（エイチビーエーワンシー）の数値を測っています。

HbA1cとは、過去1～2カ月の血糖の状態を示す数値で、6.5以上になると糖尿病型になります。

本村の特定健診を受けた人で、HbA1cの数値が6.5以上の人の割合は年々増加しています。

糖尿病は自覚症状がありません。糖尿病を防ぐためにも、国保加入者でまだ健診を受けていない人は、平成31年1月末まで村内医療機関で特定健診を受けることができますので、役場健康推進課 医療保険係にご連絡ください。

南阿蘇村特定健診受診者のうちHbA1c 6.5以上の者の推移

年度	健診受診者数	健診受診者のうち6.5以上人数	健診受診者のうち6.5以上の割合
H25	1,116	61人	5.5%
H26	1,121	52人	4.6%
H27	1,172	93人	7.9%
H28	1,093	67人	6.1%
H29	1,173	109人	9.3%

「DM（糖尿病）熊友パス（糖尿病連携手帳）」を 活用しましょう！

糖尿病はHbA1cの数値が7.0以上になると合併症が一気に進むので、重症化しないために、自分の値を知り、血糖コントロールをすることが重要です。特定健診を受けたHbA1cが6.5以上の人に、村の保健師・栄養士が「DM（糖尿病）熊友パス（糖尿病連携手帳）」を発行しています。

「DM（糖尿病）熊友パス」は自分の体の状態を理解し、血糖コントロールを良くするために医療関係者みんなで取り組むための連携手帳です。HbA1cが6.5以上の人は病院に行く時にぜひ持って行ってください。



村では、保健師・栄養士が、特定健診受診者への訪問相談を行っています。

何か気になることがあれば、気軽にご相談ください。

「DM（糖尿病）熊友パス」とは？

患者さん本人が持つ糖尿病治療のための「カルテ」のようなものです。